

ユネスコエコパーク通信

親子ら34人が自然体験キャンプ！

綾ユネスコエコパークまちづくり協議会の自然体験グループは、町の皆さんに自然体験活動を広め、自然を身近なものとして感じてもらうとうとう8月19日～20日に自然体験キャンプを行いました。

場所は、この春に整備されたばかりの入野橋公園。親子やスタッフなど34人が参加し、公園で水遊びやアユのつかみ取りを楽しみました。アユのつか



み取りでは子どもたちが大はしゃぎ！子どもたちの希望で3回も行いました。また、アユは炭火で塩焼きにしておいしく味わいました。

空き缶でお米を炊き、皆で協力して刻んだ野菜がたくさん入ったシカ肉カレーでおなかいっぱいになった後は、キャンプファイアと天体観測をしました。元教員の参加者がキャンプファイアの意味や夏の三角形・天の川について説明してくれました。

翌朝はラジオ体操からスタート。朝食後、スタッフが綾北川に仕掛けたわなを引き上げると、ナマズとスッポンが掛かっていました。子どもたちは、初めて見る大きなナマズとスッポンに大興奮の様子で、熱心に観察していました！キャンプ体験が初めてという子どもも多く、



皆で楽しい時間を過ごすことができました。保護者からは「自然体験は子どものためになるのでまた開催してほしい」「地元の自然がこんなに豊かだったなんて！」などの声が寄せられました。これからも、町民の皆さんを対象とした自然体験の企画に取り組んでいきたいと思えます。

■問い合わせ先／

ユネスコエコパーク推進室

☎ 77・3482

コラム OILCUMMA オイカワ

代表的な川魚であるコイの仲間のオイカワ。釣り人には「ハエ」と呼ばれなじみ深い魚です。石に付いた藻や水生昆虫など何でもよく食べ、きれいな川でもやや汚い川でも生きていけるたくましさを持っています。

シーボルトによってヨーロッパに紹介された時の呼名「Zacco」は日本語の「雑魚(ザコ)」に由来するとされています。普段は地味な色ですが、春～夏の恋の季節になると、オスは婚姻色と呼ばれる鮮やかな虹色のツートンカラーになり、オス同士が尾で追い合つて闘います。そこからついた名前が「追川(おいかわ)」。たくさんの異名を持つ魚なのです。

